

公共施設に「体温検知カメラ」を導入 顔認証で体温測定・マスク着用有無を検知

市は、新型コロナウイルスの感染防止のため、顔認証技術を応用し体温検知などができるカメラを導入しました。カメラに顔を近づけることで、瞬時に「体温測定」と「マスク着用の有無」を検知し、発熱のおそれおよびマスク未着用の場合には音声などで注意を促します。

同カメラは1分間に20人程度の測定が可能で、現在、利用者の多い中央図書館をはじめ市内3施設に設置します。

1 設置施設（3施設）

	施設名	設置日
1	海老名市立中央図書館	令和2年6月22日～
2	えびな市民活動センタービナレッジ	令和2年6月27日～
3	えびな市民活動センタービナスポ	令和2年6月27日～

2 体温検知方法

（1）カメラの前で液晶画面に顔が映るように立つ

※測定距離（人とカメラの間の距離）は約0.2～1.0m

（2）瞬時（約0.2秒）に、体温測定およびマスク着用の有無を自動検知

（3）発熱のおそれがある場合などには、音声や画面表示で注意

3 購入金額

1台 437,580円×3台 計：1,312,740円



◎この件に関するお問合せ

海老名市市長室危機管理課 電話 046・235・4790